

BladeSymphony

BladeSymphony BS320

Virtage 論理 VGA スナップショット手順書

HITACHI

マニュアルをよく読み、保管してください。
操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断りします。
本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらお買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標・商標について

Microsoft, Windows, Windows Server は米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2011, All rights reserved.





はじめに

このたびは BladeSymphony BS320 装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、BladeSymphony BS320 で Virtage 論理 VGA スナップショットを使用するために必要な事柄について記載しています。

マニュアルの表記

□ マークについて

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

 警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
通知	これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損傷を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 制限	人身の安全や装置の重大な損傷と直接関係しない注意書きを示します。
 補足	装置を活用するためのアドバイスを示します。

オペレーティングシステム(OS)の略称について

本マニュアルでは、次のOS 名称を省略して表記します。

また、Service Pack については記載していません。

- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Standard)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Enterprise)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Datacenter)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Standard)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Enterprise)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Datacenter)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Standard without Hyper-V)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter without Hyper-V™ 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Standard 32-bit 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Standard 32-bit)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise 32-bit 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Enterprise 32-bit)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter 32-bit 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Datacenter 32-bit)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ 32-bit 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Standard without Hyper-V 32-bit)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ 32-bit 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V 32-bit)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter without Hyper-V™ 32-bit 日本語版
(以下 Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V 32-bit)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003 R2, Standard Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003, Standard x64 Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003, Standard Edition)
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition 日本語版
(以下 Windows Server 2003, Enterprise Edition)
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System 日本語版
(以下 Windows 2000 Server)
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server Operating System 日本語版
(以下 Windows 2000 Advanced Server)

なお次のとおり、省略した「OS 表記」は、「対象 OS」中のすべてまたは一部を表すときに用います。

OS 表記	対象 OS
Windows Server 2008 R2	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2008 R2 Standard ・Windows Server 2008 R2 Enterprise ・Windows Server 2008 R2 Datacenter
Windows Server 2008	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2008 Standard ・Windows Server 2008 Enterprise ・Windows Server 2008 Datacenter ・Windows Server 2008 Standard without Hyper-V ・Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V ・Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V ・Windows Server 2008 Standard 32-bit ・Windows Server 2008 Enterprise 32-bit ・Windows Server 2008 Datacenter 32-bit ・Windows Server 2008 Standard without Hyper-V 32-bit ・Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V 32-bit ・Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V 32-bit
Windows Server 2008 64bit 版	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2008 Standard ・Windows Server 2008 Enterprise ・Windows Server 2008 Datacenter ・Windows Server 2008 Standard without Hyper-V ・Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V ・Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V
Windows Server 2008 32bit 版	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2008 Standard 32-bit ・Windows Server 2008 Enterprise 32-bit ・Windows Server 2008 Datacenter 32-bit ・Windows Server 2008 Standard without Hyper-V 32-bit ・Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V 32-bit ・Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V 32-bit
Windows Server 2003 R2	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition ・Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition ・Windows Server 2003 R2, Standard Edition ・Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition
Windows Server 2003 R2 (x64)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition ・Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition
Windows Server 2003 R2 (32 ビット)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2003 R2, Standard Edition ・Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition
Windows Server 2003	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2003, Standard x64 Edition ・Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition ・Windows Server 2003, Standard Edition ・Windows Server 2003, Enterprise Edition
Windows Server 2003 (x64)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2003, Standard x64 Edition ・Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition
Windows Server 2003 (32 ビット)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2003, Standard Edition ・Windows Server 2003, Enterprise Edition
Windows 2000	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows 2000 Server ・Windows 2000 Advanced Server

目次

重要なお知らせ	i
登録商標・商標について	i
著作権について.....	i
はじめに.....	i
マニュアルの表記	i
1 論理VGA スナップショット機能	1
1.1 論理VGAスナップショット機能の概要	1
1.1.1 論理VGA スナップショット機能構成図	1
1.1.2 仮想VGA デバイス仕様.....	2
1.1.3 推奨Web ブラウザ	2
2 論理VGAスナップショット操作手順.....	3
2.1 ログイン	3
2.1.1 ログイン画面(正常時).....	3
2.1.2 ログイン画面(JavaScript 無効時)	4
2.1.3 ログイン画面(Cookie 無効時).....	4
2.2 パスワード変更方法	5
2.2.1 パスワード変更画面	5
2.2.2 パスワード変更完了画面	6
2.2.3 規定回数以上のパスワード変更失敗画面.....	6
2.3 HVM Web システムのメニュー画面	7
2.3.1 HVM Web システムのメニュー画面	7
2.4 論理VGA スナップショット画面取得方法	8
2.4.1 論理VGA スナップショット画面	8
2.4.2 論理VGA スナップショット画面(更新中画面)	9
2.4.3 拡大した論理VGA スナップショット画面.....	10
2.4.4 論理VGA スナップショット画面(LPAR 一括画面表示)	11
2.4.5 論理VGA スナップショット画面(LPAR 選択画面表示)	14
2.4.6 論理VGA スナップショット画面自動更新中.....	15
3 HVM Webシステムエラー画面	16
3.1 ログイン認証エラー	16
3.2 パスワード変更エラー.....	17
3.3 セッション終了時の画面	18
3.4 内部エラー画面.....	19
3.5 Webサーバアクセス不可時の画面	20
3.6 注意事項	21

4 變更來歷	27
--------------	----

1

論理VGA スナップショット機能

HVM ファームウェアバージョンにより、HVM Web システムの表示内容が異なる場合があります。

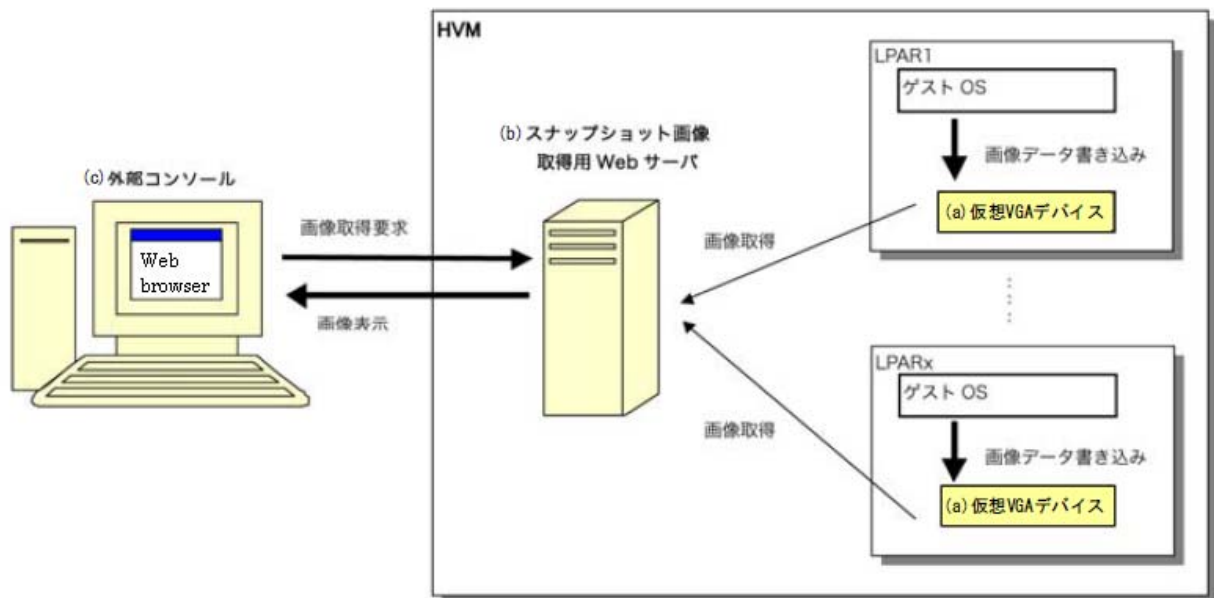
1.1 論理VGAスナップショット機能の概要

各 LPAR 上で動作するゲスト OS がディスプレイ装置に出力する画像を参照・取得する機能として論理 VGA スナップショット機能をサポートしています。

外部コンソールから Web ブラウザを利用して、HVM が提供するスナップショット画像取得用 Web サーバへアクセスすることにより、各 LPAR がディスプレイ装置に出力する画像を随時スナップショット画像（静止画）として取得することができます。

1.1.1 論理VGA スナップショット機能構成図

論理 VGA スナップショット機能の構成図を次に示します。



論理 VGA スナップショット機能は次の3つのコンポーネントで構成されます。

(a) 仮想 VGA デバイス

ゲスト OS が画像データを書き込む仮想的な VGA デバイスです。仮想 VGA デバイスの仕様については次の「1.1.2 仮想 VGA デバイス仕様」を参照してください。

(b) スナップショット画像取得用 Web サーバ

HVM 内部に組み込まれている Web サーバです。Web ブラウザからのスナップショット画像取得要求毎に仮想 VGA デバイスから画像データを取得します。

(c) 外部コンソール

スナップショット画像を表示させる Web ブラウザを動作させるコンソールです。Web ブラウザについては、次の「1.1.3 推奨 Web ブラウザ」を参照してください。

1.1.2 仮想VGA デバイス仕様

LPAR には次に示す仮想的な VGA デバイスが割り当てられます。

項目		内容
VGA仕様		標準VGA VBE3.0(SVGA)
サポートモード (*1)	VGA モード	720×200ピクセル 16色のテキストモード(Mode03h) (*2) 640×480ピクセル 16色のグラフィックモード(Mode12h)
	SVGA モード	解像度: 800×600、1024×768 256色、65536色、16777216色

(*1) これ以外のモードに設定されている場合にはスナップショット画像を取得することはできません。

(*2) 論理 BIOS がテキストモードの VGA に出力する文字列は各 LPAR の OS コンソール(ゲストスクリーン)にも表示されます。

1.1.3 推奨Web ブラウザ

これ以外の Web ブラウザを使用した場合には動作は保証できません。

また、HVM Web システム利用時の設定値(推奨値)について以下の表にまとめます。

HVM Web システム利用時の設定値(推奨値)

No.	設定値(推奨値)
1	外部コンソールの VGA 画面の解像度の推奨値は、1280×1024 を推奨値します。 (上記以外の設定とした場合、VGA キャプチャ画面が画面に収まらない可能性があります。画面に収まらない場合は、ブラウザのスクロールバーを利用してください)
2	Web ブラウザは、Microsoft 社 Internet Explorer 6.0 または 7.0 を推奨します。
3	VGA キャプチャ画面の自動更新は、JavaScript を利用します。そのため JavaScript を利用可能な設定となっている必要があります。
4	VGA キャプチャ画面を拡大して見る際に、Web ブラウザの設定にて「ポップアップウィンドウ」が無効となっている場合、正しく Window が開かれない可能性があります。そのため Web ブラウザの設定でポップアップウィンドウを有効にする必要があります。

2

論理VGAスナップショット操作手順

2.1 ログイン

外部コンソールから Web ブラウザを利用して、HVM が提供するスナップショット画像取得用 Web サーバにアクセスします。URL は次のとおりです。

<https://xxx.xxx.xxx.xxx/index.html>

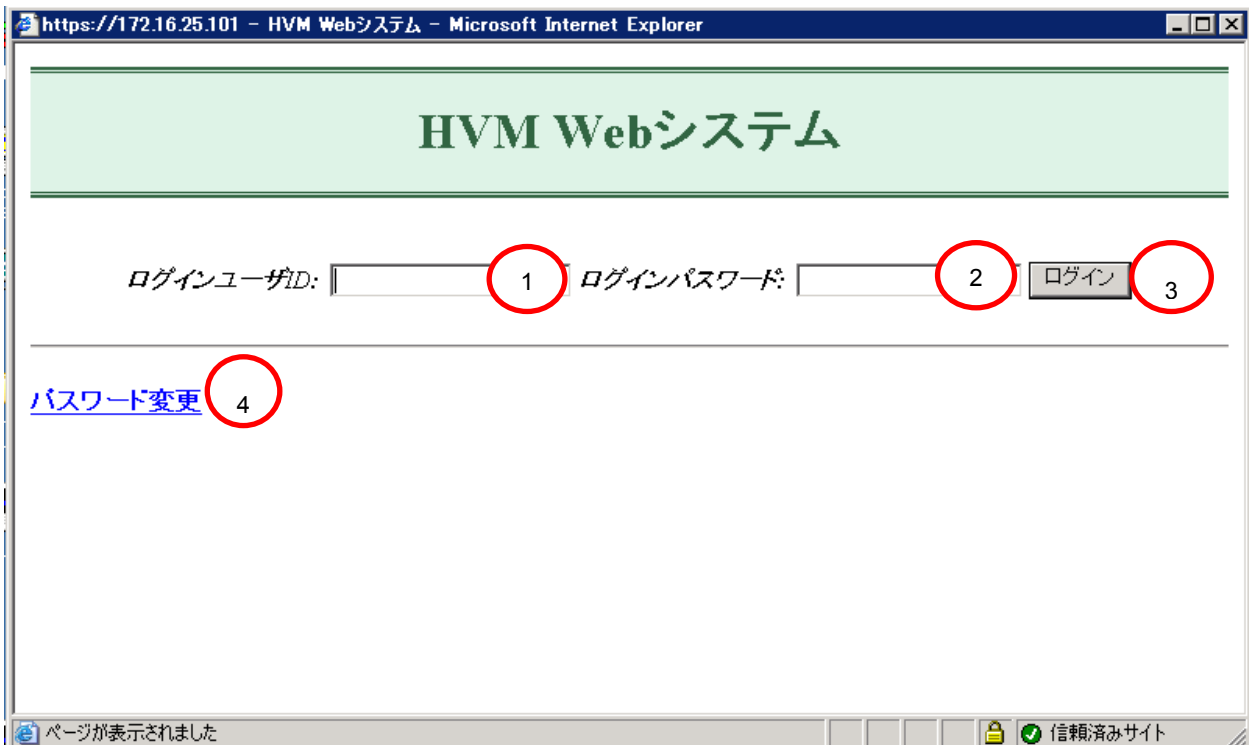
※xxx.xxx.xxx.xxx は HVM IP Address を示します。

HVM IP Address は System Configuration スクリーンにより確認できます。

2.1.1 ログイン画面(正常時)

論理 VGA スナップショット Web システムにログインするためには、ログインユーザ ID およびログインパスワードの入力が必要となります。ログインユーザ ID およびログインパスワードの初期値は次のとおりです。

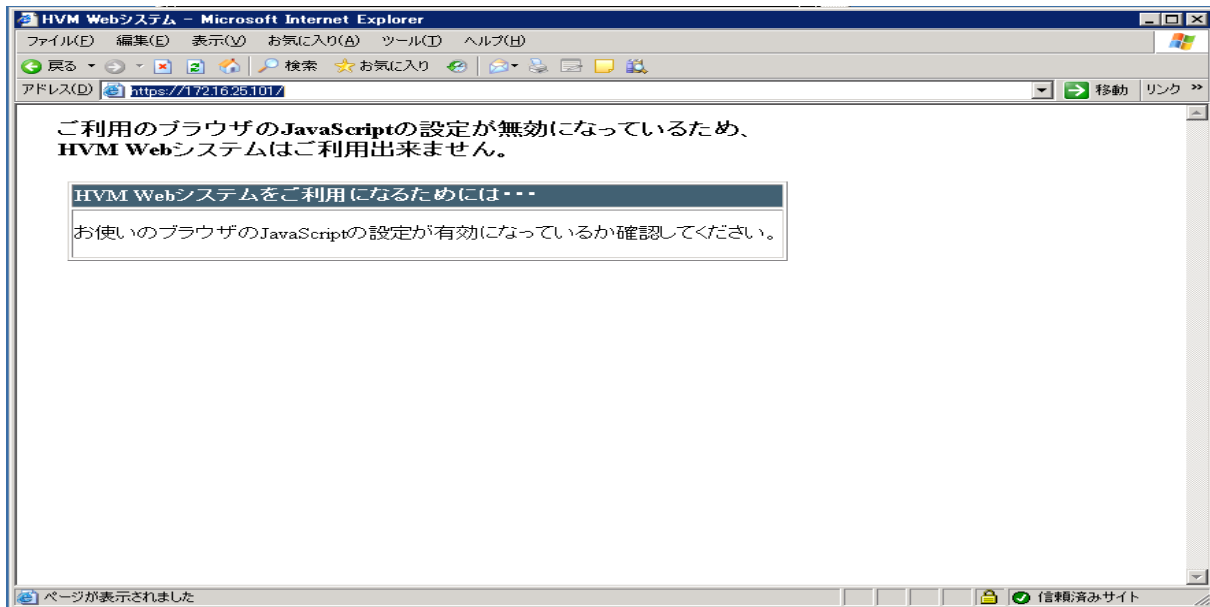
項目	初期値
ログインユーザ ID	Admin
ログインパスワード	Password



No.	画面説明
①	ログインユーザ ID(最大 8 文字まで入力可) ログインユーザ ID は固定であり変更できません。
②	ログインパスワード(最大 8 文字まで入力可) ログインパスワードは変更できます。
③	ログイン実行ボタン。ログインに成功すると、論理 VGA スナップショットと HVM ファームウェアの選択画面が表示されます。
④	パスワード変更画面を表示します。

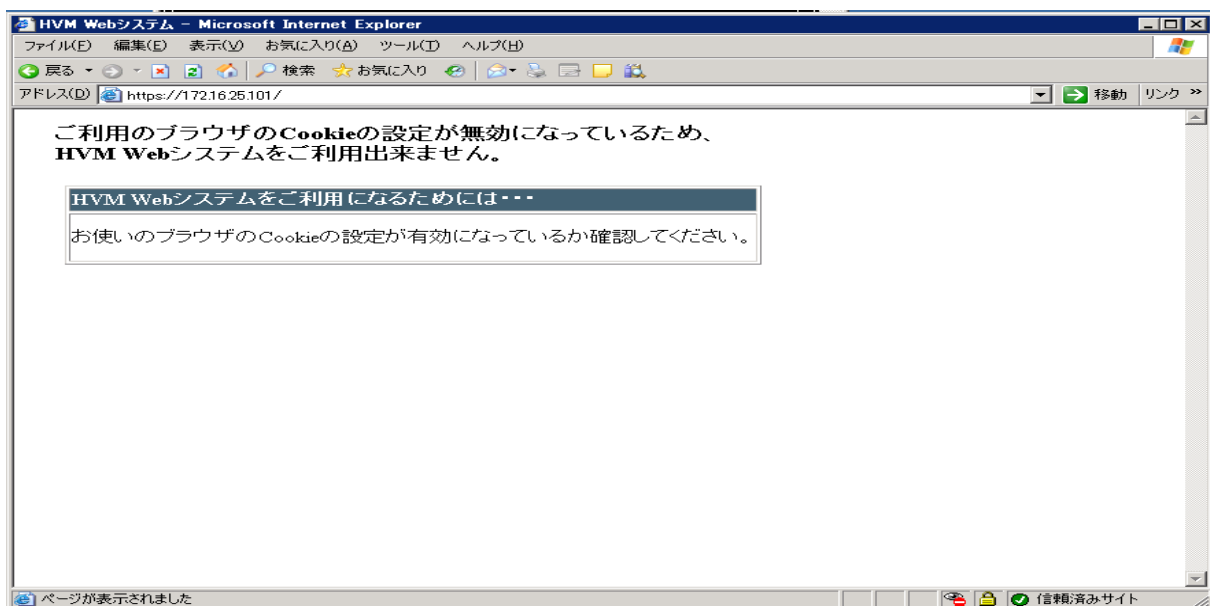
2.1.2 ログイン画面 (JavaScript 無効時)

HVM Web システムにログインするためには、JavaScript が有効となっている必要があります。Web ブラウザの設定にて JavaScript が有効となっていない場合は、次の画面を表示します。



2.1.3 ログイン画面 (Cookie 無効時)

HVM Web システムにログインするためには、Cookie が有効となっている必要があります。Web ブラウザの設定にて Cookie が有効となっていない場合は、次の画面を表示します。



2.2 パスワード変更方法

2.2.1 パスワード変更画面

パスワード変更の前に、必ずHVMのMenu画面もしくはLogical Partition ConfigurationスクリーンよりHVM構成情報を保存する必要があります。

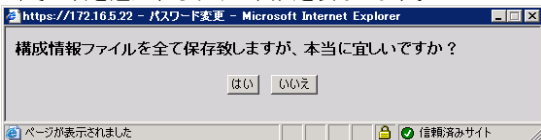
⚠ 注意

HVM構成情報を保存しないと以下の現象が起きます。

- ・ゲストOSが起動できなくなります。
- ・全LPARで設定したEFIドライバ情報が失われます。

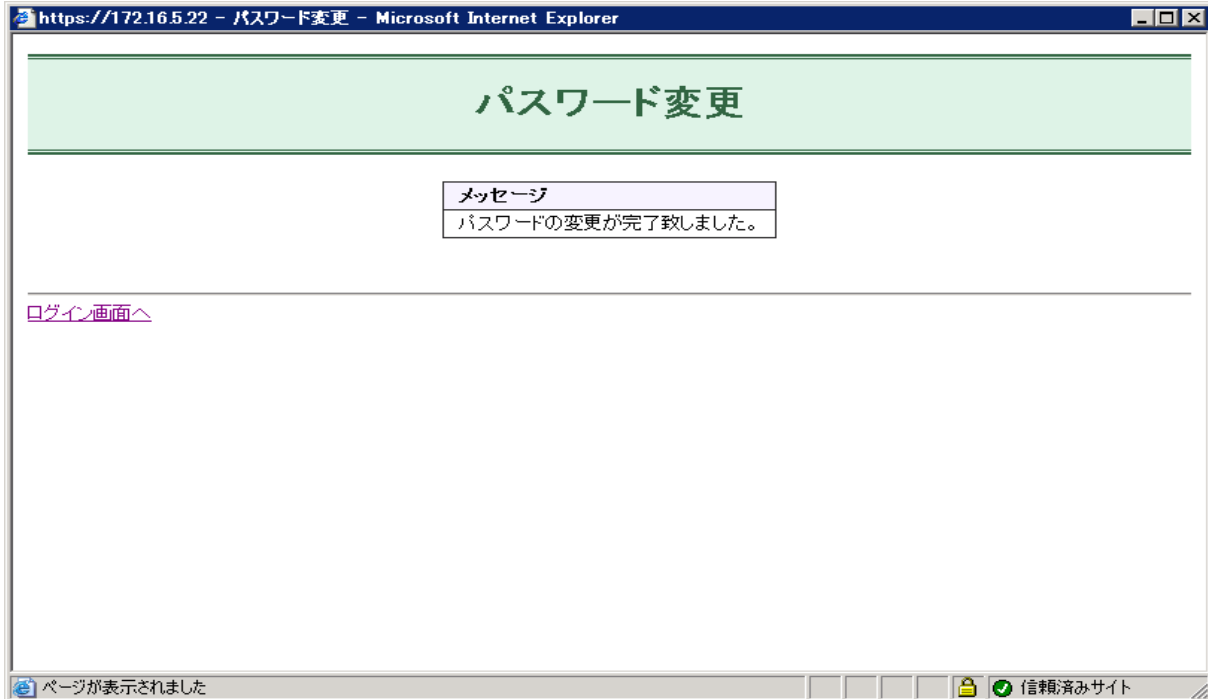
パスワードを変更する場合は以下の手順を必ず実施してください。

- 1.HVMのMenu画面もしくはLogical Partition Configurationスクリーンで[F9]キーを押しHVM構成情報を保存します。
- 2.HVM Webシステムでパスワードを変更します。

No.	画面説明
①	ユーザ ID(最大入力文字数 8 文字)
②	パスワード変更前のログインパスワード(最大入力文字数 8 文字)
③	新規ログインパスワード(最大入力文字数 8 文字)
④	確認用に再度パスワードを入力(最大入力文字数 8 文字)
⑤	パスワード設定ボタン。パスワード設定ボタンを押下するとパスワードを変更します。パスワード変更時は、すべての構成情報ファイルの保存処理が行われるため、その旨を通知する以下の画面を表示します。  上記画面の「はい」を押下するとパスワード変更が行われます。
⑥	入力した文字をクリアします
⑦	ログイン画面を表示します

2.2.2 パスワード変更完了画面

パスワードの変更に成功した場合、次の画面を表示します。

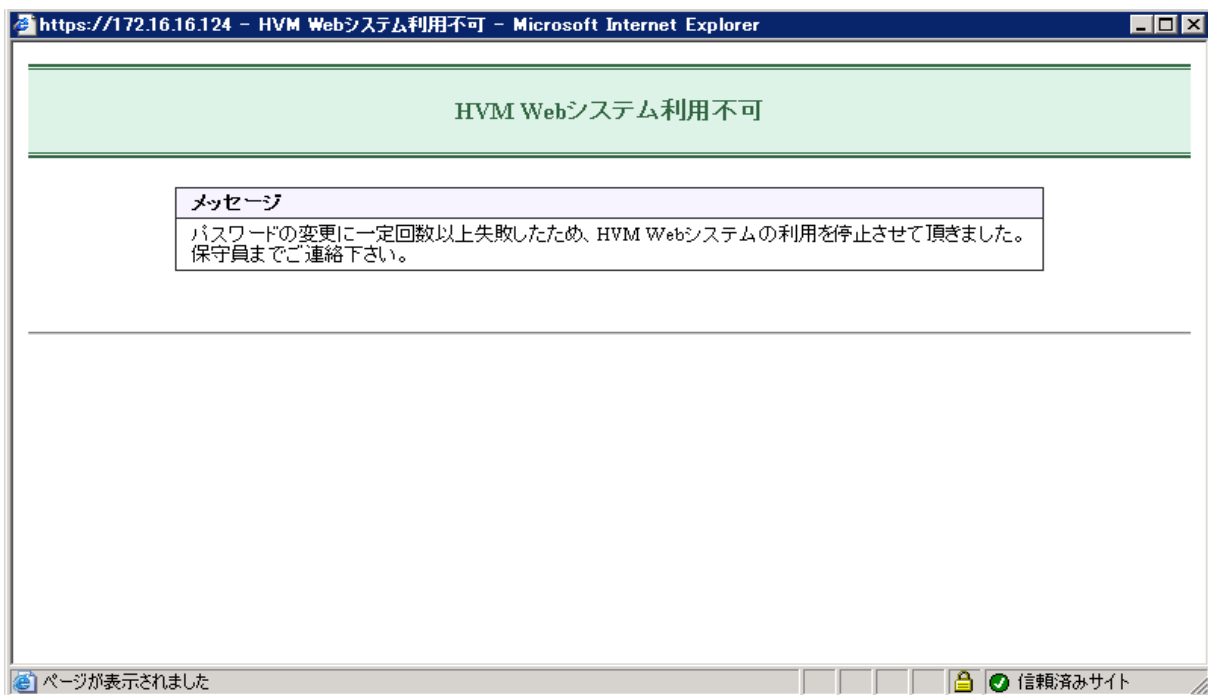


2.2.3 規定回数以上のパスワード変更失敗画面

パスワード変更に規定回数(5回)失敗した場合、HVM Webシステムを利用不可とし、次の画面を表示します。

デフォルトのIDとパスワードでパスワード変更に規定回数(5回)失敗した場合、Internet ExplorerのWebブラウザを再起動させることで再度Loginを進めることができます。

任意にパスワードを設定した後、パスワード変更に規定回数失敗した場合は下記メッセージが出力されますので保守員に連絡を下さい。



2.3 HVM Web システムのメニュー画面

2.3.1 HVM Web システムのメニュー画面

HVM Web システムのメニュー画面について以下に説明します。



No.	画面説明
①	論理 VGA スナップショット画面へのリンクボタン。押すと論理 VGA スナップショット画面を表示します。
②	HVM ファームウェア更新画面へのリンクボタン。押すと HVM ファームウェア更新画面を表示します。 詳細については、「 BladeSymphony BS320 Virtage バージョンアップ / Virtage レビジョンアップ手順書 」を参照してください。
③	ログアウトボタン。HVM Web システムからログアウトし、ログイン画面へ戻ります。

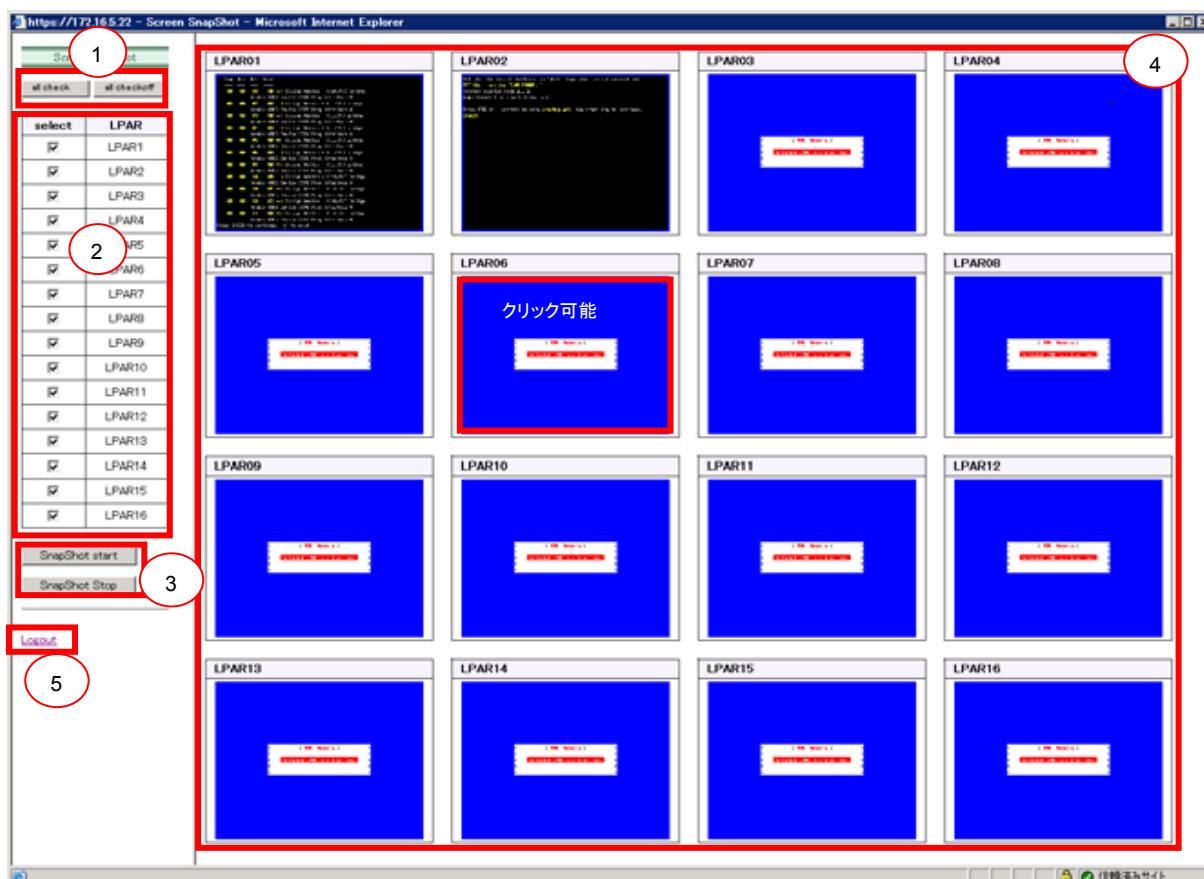
2.4 論理 VGA スナップショット画面取得方法

本画面は、ログインに成功すると表示されます。ログインと同時に LPAR の論理 VGA デバイスの画像を取得し、その結果を Web ページに表示します。LPAR が Activate 状態でない場合や、画面表示できないモード (Mode03h/Mode12h 以外のサポートしないモード) に設定されている場合には、その旨を示す画面が Web ページに表示されます。論理 VGA スナップショット画面について次に説明します。

2.4.1 論理VGA スナップショット画面

【HVM ファームウェアバージョン 17-4X 以前】

論理 VGA スナップショット画面の自動更新画面について次に説明します。



No.	画面説明
①	<p>チェック BOX 全選択/解除ボタン 「all check」ボタンは、②の LPAR 選択チェック BOX をすべてチェックします。 「all checkoff」ボタンは、②の LPAR 選択チェック BOX のチェックをすべて解除します。</p>
②	<p>論理 VGA デバイス画像自動更新対象 LPAR 選択チェック BOX の上に表示されている数字は、LPAR 番号を示します。</p>
③	<p>論理 VGA デバイス画像自動更新実行/停止ボタン 「SnapShot start」ボタンは、VGA キャプチャの自動更新 (更新間隔は 1LPAR 当たり 2 秒固定) を実施します。「SnapShot stop」ボタンは、VGA キャプチャの自動更新を停止します。 またダブルクリックによる 2 回連続実行はできません。「SnapShot start」ボタン押した際は、「SnapShot stop」ボタンを 1 度押すまでは、「SnapShot start」ボタンを無効 (ボタンを押せない状態) にします。</p>
④	<p>LPAR 毎の論理 VGA デバイス画像の画面。LPAR の VGA キャプチャ画面をクリックすると、拡大した VGA キャプチャ画面を表示します。ただし自動更新中は、LPAR の VGA キャプチャ画面をクリックしても拡大画面は表示できません。クリックした場合は、以下のダイアログメッセージを出力します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Microsoft Internet Explorer</p> <p> 自動更新中のため、VGA拡大表示が出来ません。自動更新を止めてから再度実行して下さい。</p> <p style="text-align: center;">OK</p> </div>

No.	画面説明
⑤	「Logout」ボタンは、論理 VGA スナップショット画面からログアウトします。
⑥	論理 VGA スナップショット画面は、以下のキー操作は無効となっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・「F5」キーによる更新 ・「BackSpace」キーによる前の画面に戻るブラウザ制御

2.4.2 論理VGA スナップショット画面(更新中画面)

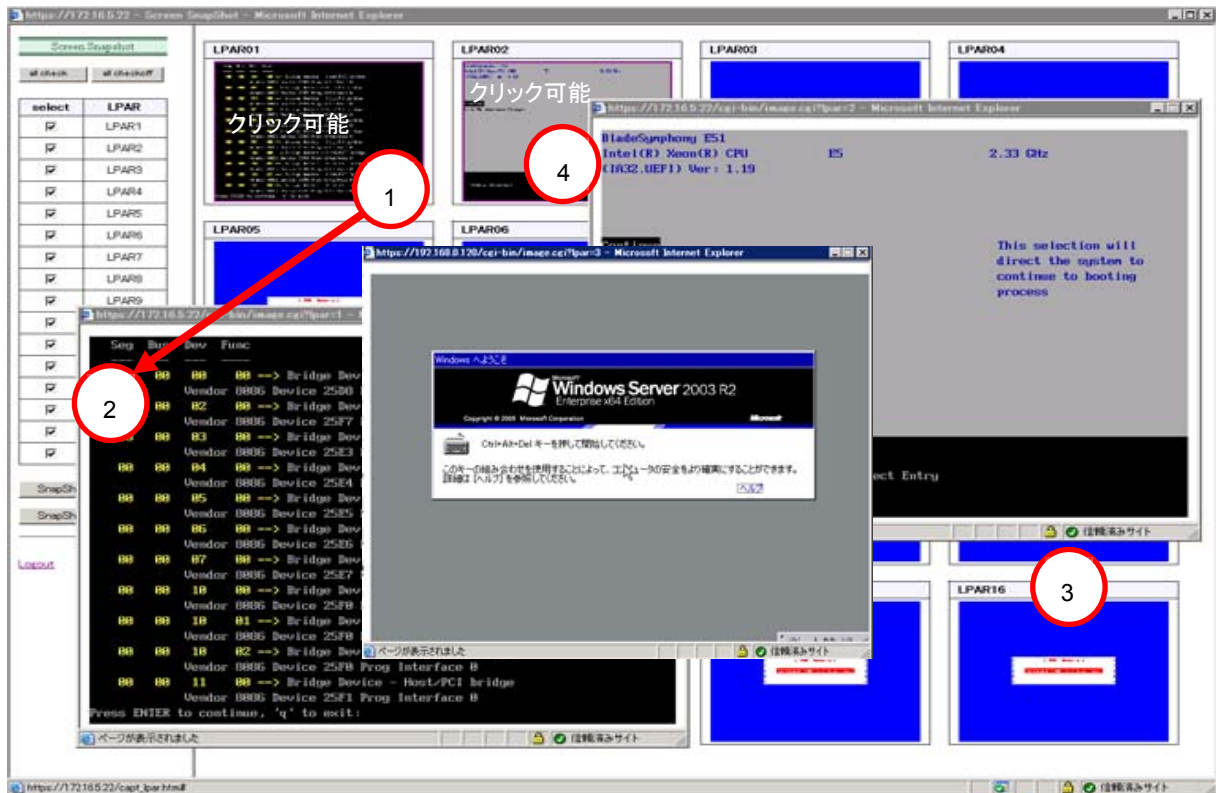
論理 VGA スナップショット画面の自動更新画面について次に説明します。



No.	画面説明
①	画面の自動更新は、チェックBOXに指定したLPARの画面を順次更新します。同時にVGAキャプチャ画面の更新は行いません。更新間隔は2秒間隔です。
②	「SnapShot start」ボタンを押下すると自動更新を開始します。
③	「SnapShot start」ボタンを押下すると自動更新中は、以下メッセージが表示されます。 「LPAR1の論理VGAスナップショット更新中・・・」
④	各論理VGAデバイスの静止画像は、「右クリックして画像を保存する」機能を有効にしています。画像を保存したい場合は、各LPARの画面上で右クリックしてメニューを表示し、画像を保存します。
⑤	論理VGAスナップショット画面更新中は、以下のキー操作は無効となっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・「F5」キーによる更新 ・「BackSpace」キーによる前の画面に戻るブラウザ制御

2.4.3 拡大した論理VGA スナップショット画面

LPAR 毎の論理 VGA デバイスを拡大して見ることもできます。拡大した論理 VGA スナップショット画面について次に説明します。



No.	画面説明
①	LPAR 毎のVGA キャプチャ画面は、クリック可能となっており、クリックすると②の拡大したVGA 画面を参照することができます。
②	選択したLPAR のVGA キャプチャ画面を拡大して表示します。 画像サイズは 640×480 固定で表示します。
③	拡大した論理VGA キャプチャ画面は手動で更新できます。「SnapShot update」ボタンを押すと手動でVGA キャプチャ画面を更新します。ただしVGA キャプチャはVGA キャプチャの多重リクエスト発行を許していないため、ほかの画面を更新中の場合は、「SnapShot Update」ボタンは無効です。同様に自動更新実行中は、拡大表示画面の「SnapShot update」ボタンも無効です。また「右クリックして画像を保存する」機能も拡大画面でも同様に有効です。
④	拡大した論理VGA デバイス画像スナップショット画面は、次のキー操作は無効となっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・「F5」キーによる更新 ・「BackSpace」キーによる前の画面に戻るブラウザ制御

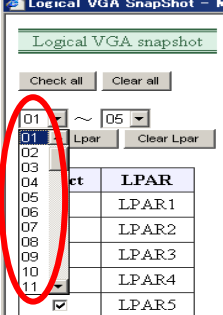
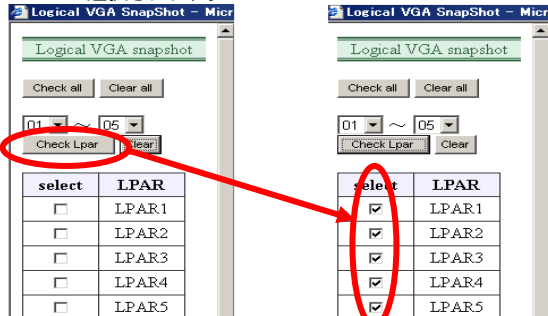
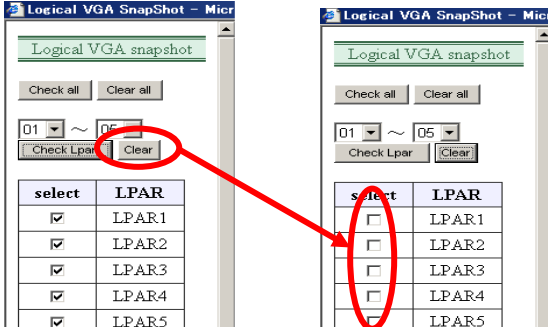
2.4.4 論理VGA スナップショット画面(LPAR 一括画面表示)


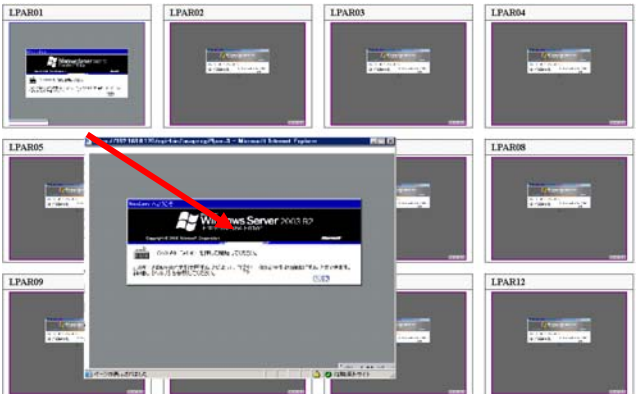
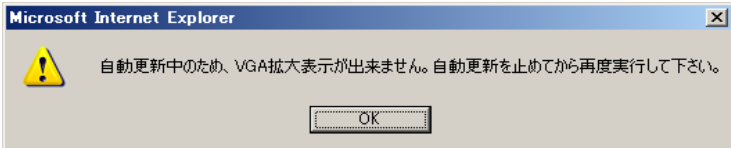
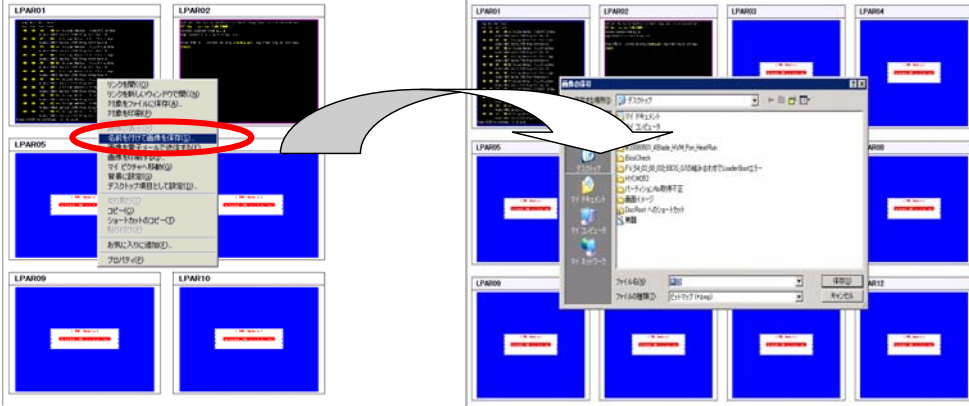
【HVM ファームウェアバージョン 17-6X 以降】

論理 VGA スナップショット画面の自動更新画面について次に説明します。

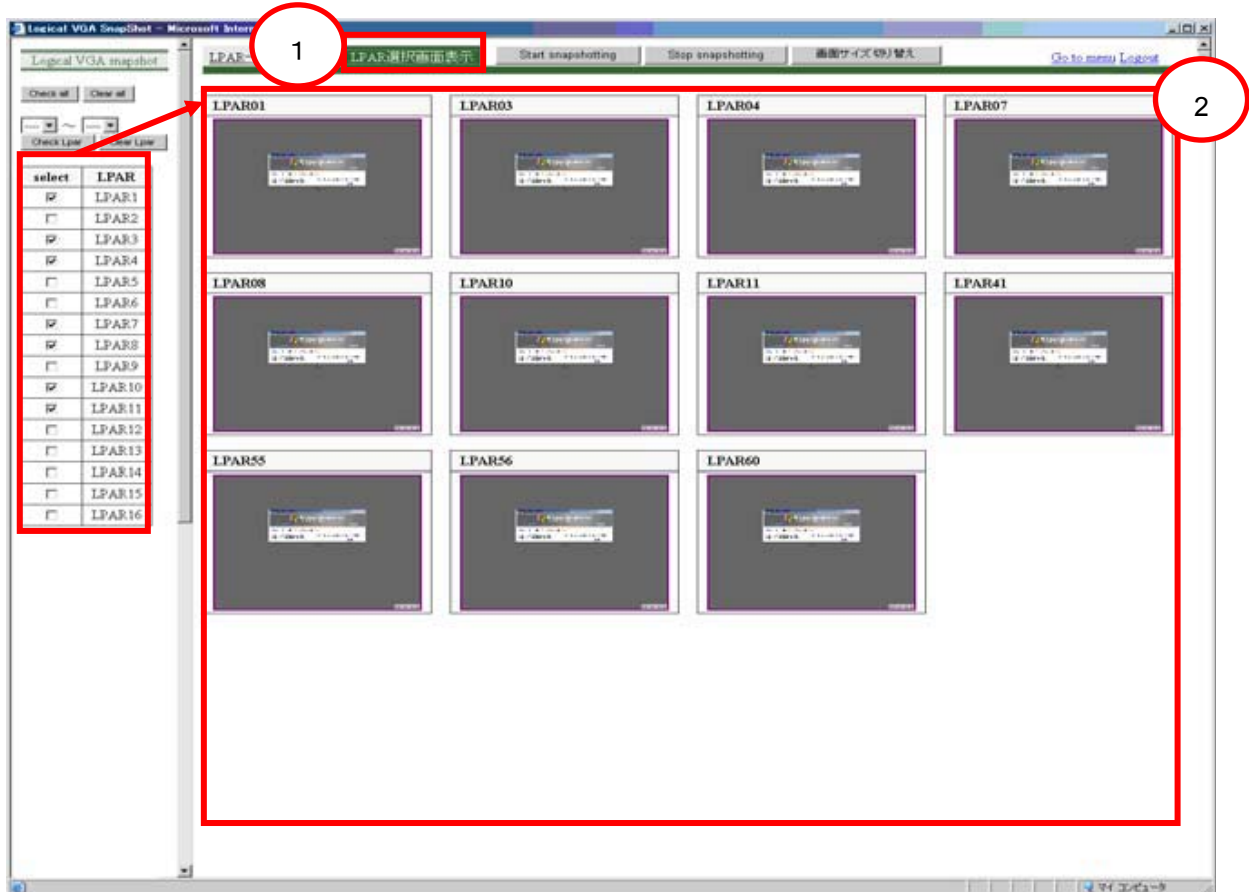


No.	画面説明
①	<p>「LPAR 一括画面表示」、「LPAR 選択画面表示」選択タブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「LPAR 一括画面表示」タブをクリックすると、「LPAR 一括画面」を表示します。 ・「LPAR 選択画面表示」タブをクリックすると、「LPAR 選択画面」を表示します。 <p>ただし、論理VGAスナップショット画面自動更新中は、画面を遷移できません。クリックした場合は、以下のダイアログメッセージを出力します。</p> <div data-bbox="531 1480 1082 1637" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Microsoft Internet Explorer</p> <p> 自動更新中です。自動更新を止めてから再度実行して下さい。</p> <p style="text-align: center;">OK</p> </div>

No.	画面説明
②	<p>チェック BOX 選択／解除ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Check all」ボタンは、③の LPAR 選択チェック BOX をすべてチェックします。 ・「Clear all」ボタンは、③の LPAR 選択チェック BOX のチェックをすべて解除します。 ・リスト BOX によりチェックする LPAR 番号の範囲が選択できます。  <p>・リスト BOX に LPAR 番号を 01～05 まで選択して「Check Lpar」を押下すると、選択した範囲の LPAR 番号に対応したチェック BOX が選択されます。</p>  <p>・リスト BOX に LPAR 番号を 01～05 まで選択して「Clear」を押下すると、選択した範囲の LPAR 番号に対応したチェック BOX が解除されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・論理 VGA スナップショット画面自動更新中は、ボタンが無効化されます。
③	<p>論理 VGA スナップショット画面自動更新対象 LPAR 選択チェック BOX</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック BOX の上に表示されている数字は、LPAR 番号を示します。最大 LPAR 数分チェック BOX が表示されます。 ・論理 VGA スナップショット画面自動更新中は、チェック BOX が無効化されます。
④	<p>論理 VGA スナップショット画面自動更新実行／停止ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Start snapshotting」ボタンは、論理 VGA スナップショット画面自動更新(更新間隔は 1LPR 当たり 2 秒固定)を実施します。 ・「Stop snapshotting」ボタンは、論理 VGA スナップショット画面自動更新を停止します。 ・ダブルクリックによる 2 回連続実行はできません。「Start snapshotting」ボタン押した際は、「Stop snapshotting」ボタンを 1 度押すまでは、「Start snapshotting」ボタンが無効化されます。

No.	画面説明
⑤	<p>画面サイズ切り替えボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面サイズ切り替えボタンは、ボタンを押すごとに横 4 列⇒横 8 列、横 8 列⇒横 4 列への画面サイズに切り替えます。  <ul style="list-style-type: none"> 論理 VGA スナップショット画面自動更新中は、ボタンが無効化されます。
⑥	<p>各 LPAR の論理 VGA スナップショット画面</p> <ul style="list-style-type: none"> 各 LPAR の論理 VGA スナップショット画面をクリックすると、拡大した画面を表示します。  <p>ただし、論理 VGA スナップショット画面自動更新中は、拡大画面を表示できません。クリックした場合は、以下のダイアログメッセージを出力します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 各 LPAR の論理 VGA スナップショット画面は、「右クリックして画像を保存する」機能を有効にしています。画像を保存したい場合は、画面上で右クリックしてメニューを表示し、画像を保存します。 
⑦	<p>「Go to menu」「Logout」へのリンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Go to menu」へのリンクは、メニュー画面を表示します。 「Logout」へのリンクは、論理 VGA スナップショット画面からログアウトします。
⑧	<p>論理 VGA スナップショット画面は、以下のキー操作は無効となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「F5」キーによる更新 「BackSpace」キーによる前の画面に戻るブラウザ制御

2.4.5 論理VGA スナップショット画面(LPAR 選択画面表示)

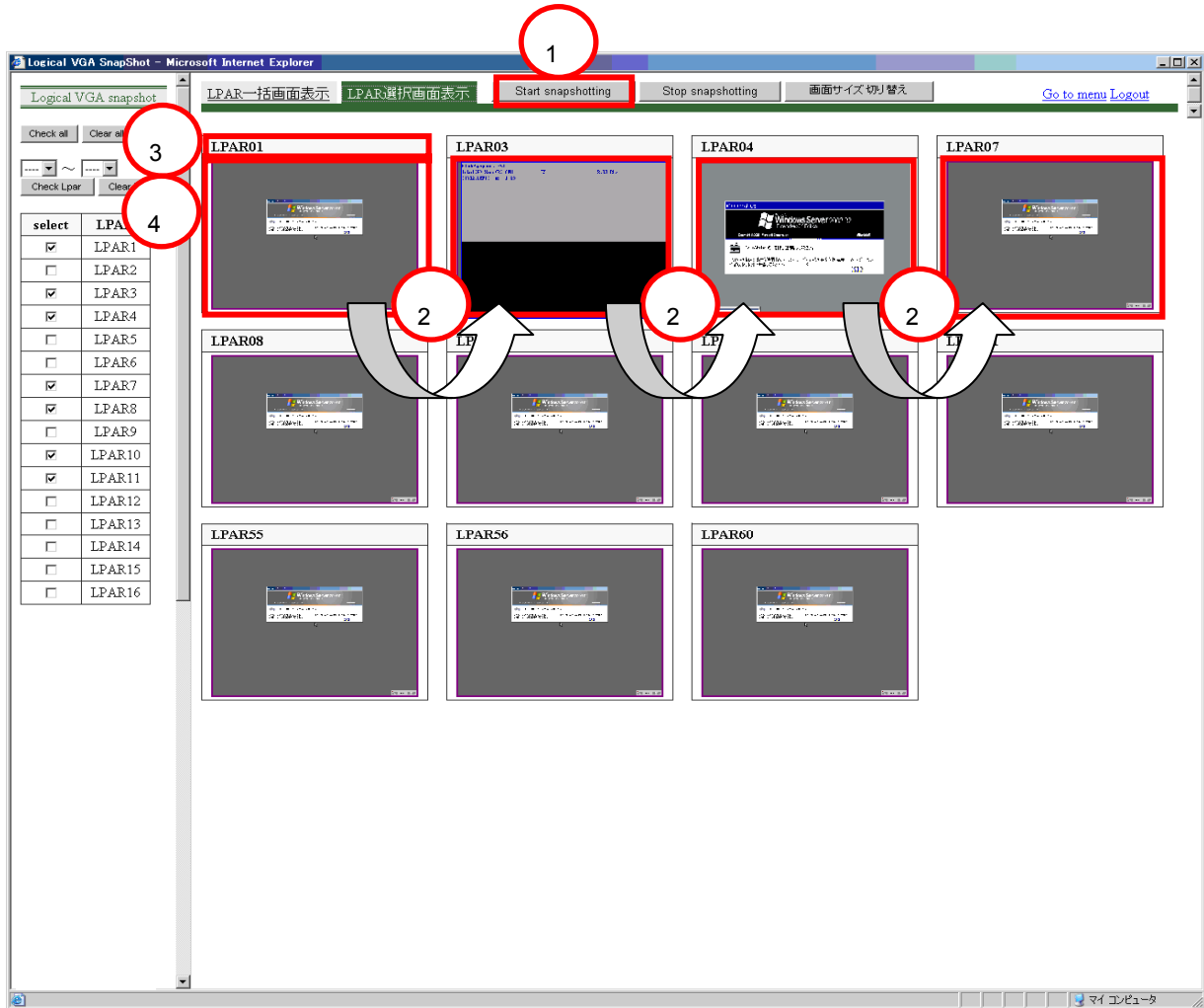


No.	画面説明
①	LPAR 選択チェック BOX がチェックされている状態で、「LPAR 選択画面表示」タブをクリックすると、「LPAR 選択画面」を表示します。 LPAR 選択チェック BOX がチェックされていない場合は、何も表示されません。
②	選択した LPAR 番号の論理 VGA スナップショット画面を昇順に表示します。
③	論理 VGA スナップショット画面は、以下のキー操作は無効となっています。 ・「F5」キーによる更新 ・「BackSpace」キーによる前の画面に戻るブラウザ制御

LPAR 選択画面の切り替えタイミングを以下に示します。

LPAR 選択画面の切り替えタイミング
「LPAR 一括画面表示」で LPAR を選択し、「LPAR 選択画面表示」タブをクリックした場合
「LPAR 選択画面表示」で「Start snapshotting」ボタンを押下した場合
「LPAR 選択画面表示」で「画面サイズ切り替え」ボタンを押下した場合

2.4.6 論理VGA スナップショット画面自動更新中



No.	画面説明
①	「Start snapshotting」ボタンを押下すると、画面の自動更新を開始します。
②	画面の自動更新は、チェック BOX に指定した LPAR の画面を順次更新します。同時に論理 VGA スナップショット画面の更新は行いません。更新間隔は 2 秒間隔です。
③	画面の自動更新中は、以下のメッセージが表示されます。 「LPAR1 の論理 VGA スナップショット更新中……」
④	論理 VGA スナップショット画面更新中は、以下のキー操作は無効となっています。 ・「F5」キーによる更新 ・「BackSpace」キーによる前の画面に戻るブラウザ制御

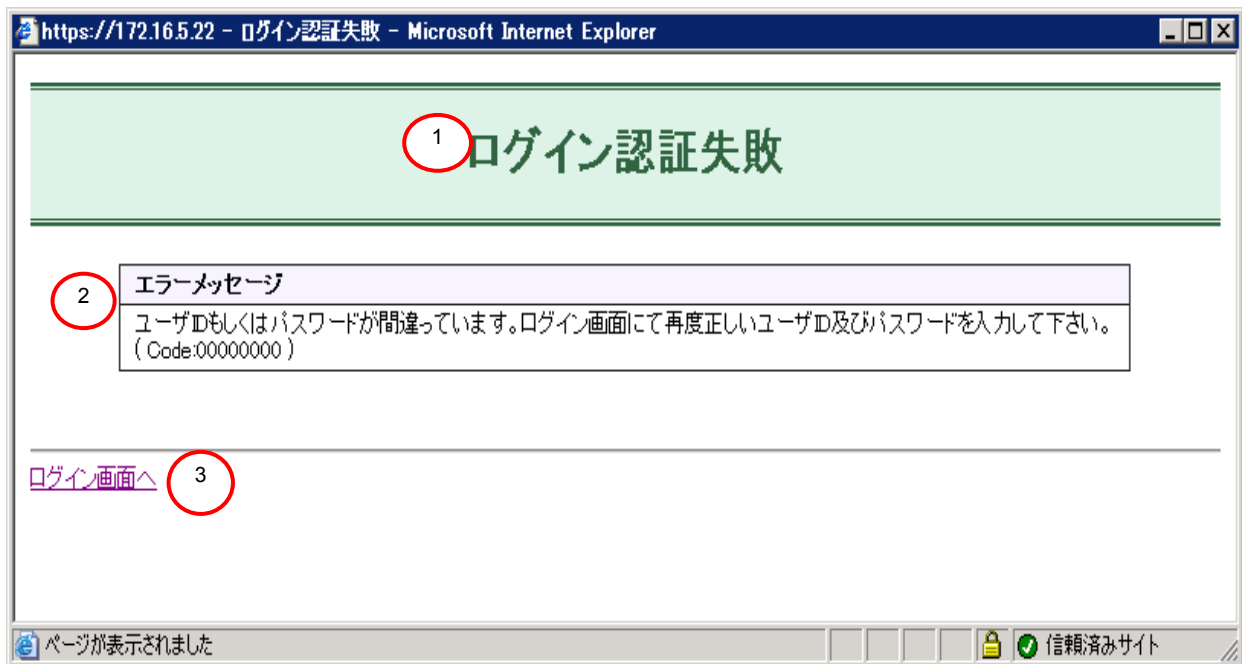
3

HVM Webシステムエラー画面

HVM Web システムのエラー画面について以下に説明します。

3.1 ログイン認証エラー

ログイン認証失敗時に表示する画面について以下に説明します。

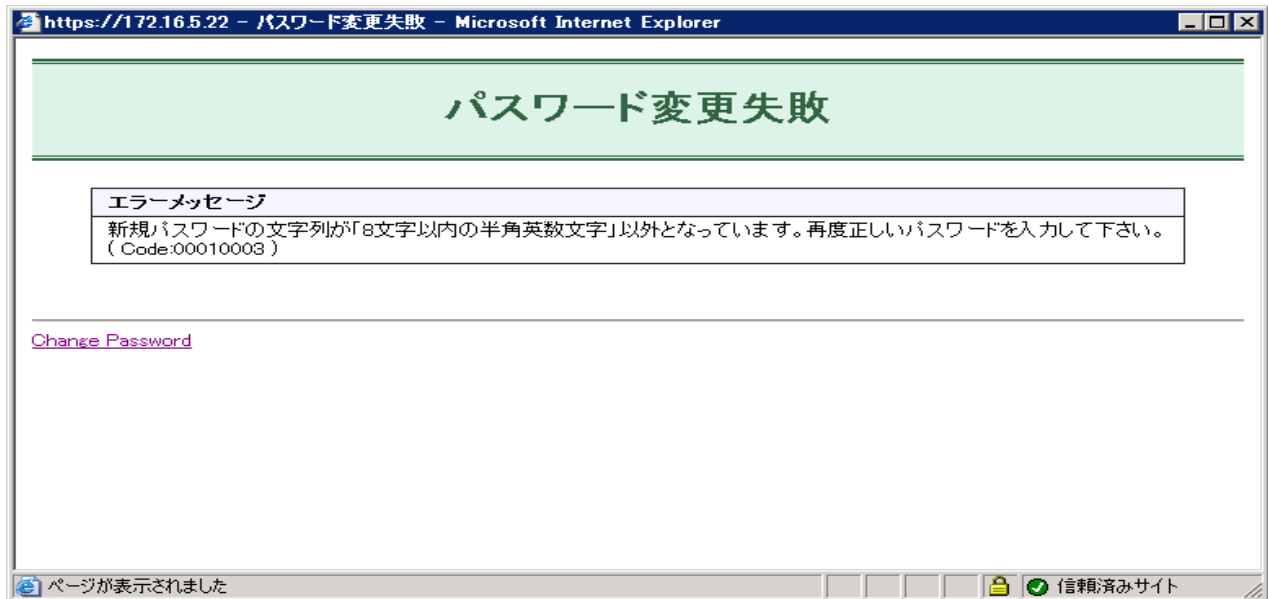


No.	画面説明
①	エラータイトルを表示します。
②	障害時のエラーメッセージ及びエラーコードを表示します。
③	ログイン画面に戻るためのリンク

No.	エラーメッセージの内容	対応
1	ユーザ ID もしくはパスワードが間違っています。ログイン画面にて再度正しいユーザ ID 及びパスワードを入力して下さい。 (Code:00000000)	正しいユーザ ID とパスワードにて再度ログインしてください。

3.2 パスワード変更エラー

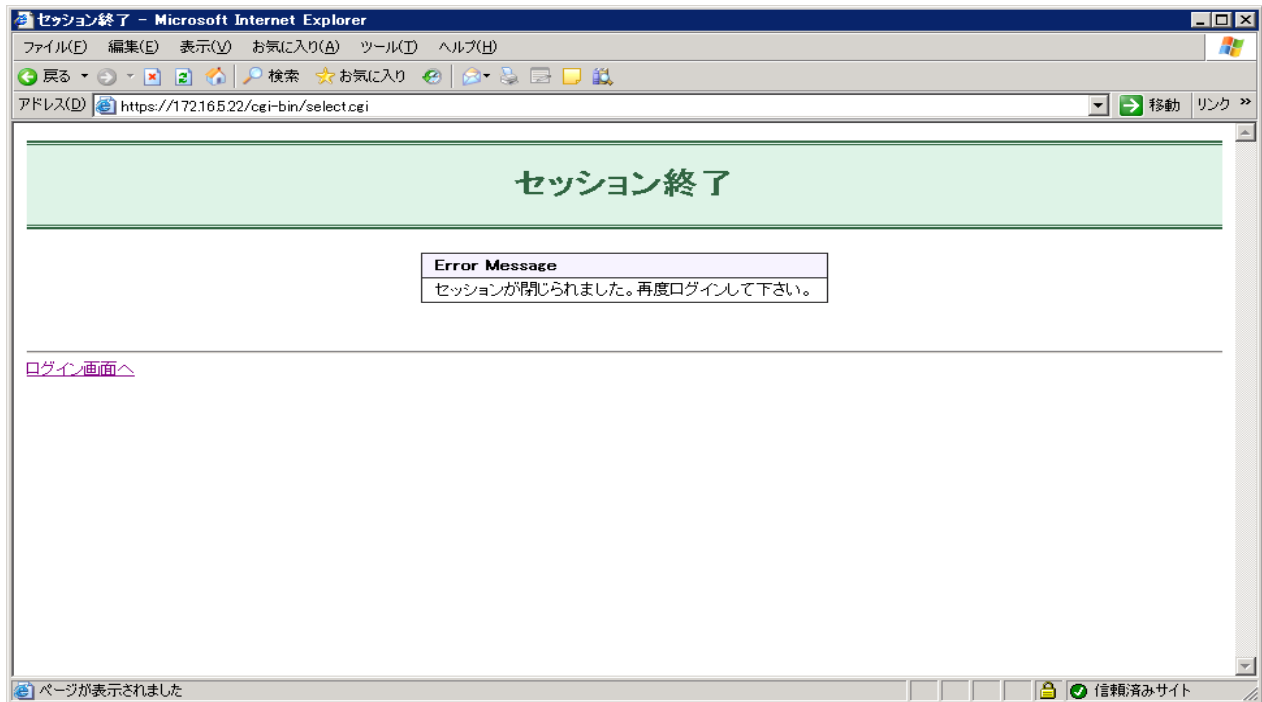
パスワード変更失敗時に表示する画面について以下に説明します。エラー画面の形式は、ログイン画面エラー時と同様の形式で出力します。



No.	エラーメッセージの内容	対応
1	現在のユーザ ID もしくは現在のパスワードの欄に入力した文字列が「8 文字以内の半角英数字」以外の文字列になっているためパスワードの変更に失敗致しました。ユーザ ID 及びパスワードを「8 文字以内の半角英数字」で入力して下さい。 (Code:00010001)	パスワード変更画面に戻り正しいユーザ ID とパスワードを入力してください。
2	現在のユーザ ID もしくはパスワードが間違っているためパスワードの変更に失敗致しました。正しいユーザ ID 及びパスワードを入力して下さい。 (Code:00010002)	パスワード変更画面に戻り正しいユーザ ID とパスワードを入力してください。
3	新規パスワードに入力した文字列が「8 文字以内の半角英数字」以外となっています。再度正しいパスワードを入力して下さい。 (Code:00010003)	パスワード変更画面に戻り正しい新規パスワードを入力してください。
4	新規パスワードにが変更前と同様のパスワードが入力されたとなっています。新規パスワードは、変更前と別のパスワードを入力して下さい。 (Code:00010004)	パスワード変更画面に戻り新規パスワードの欄に変更前と別のパスワードを入力してください。

3.3 セッション終了時の画面

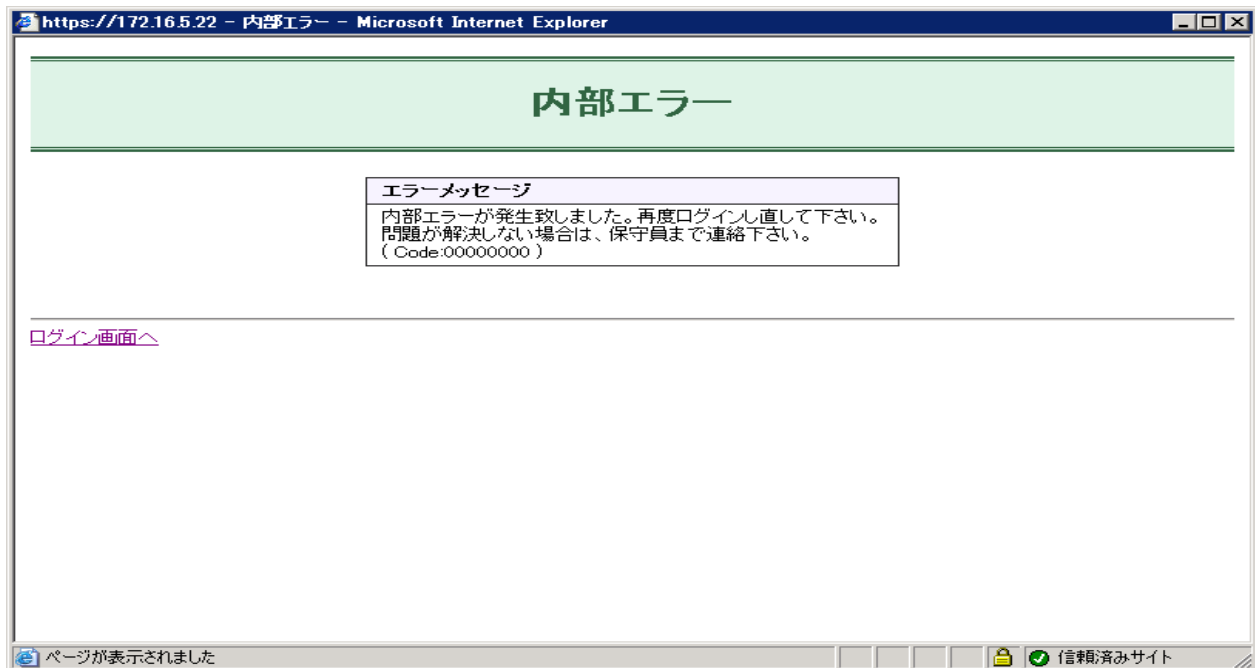
セッションが閉じられた場合は、セッションが閉じられたことを示すメッセージを表示します。エラーコードは、使用上の問題はないため表示しません。



No.	エラーメッセージの内容	対応
1	セッションが閉じられました。再度ログインして下さい。	セッションが閉じられたため、再度ログイン画面に戻り、ログインからやり直してください。

3.4 内部エラー画面

ユーザオペレーションによる要因ではなく、内部エラー（ファイルオープンエラー、内部処理矛盾）が発生した場合に表示する画面について以下に説明します。再度ログインし直すことを通知します。また再度ログインしても問題が解決しない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

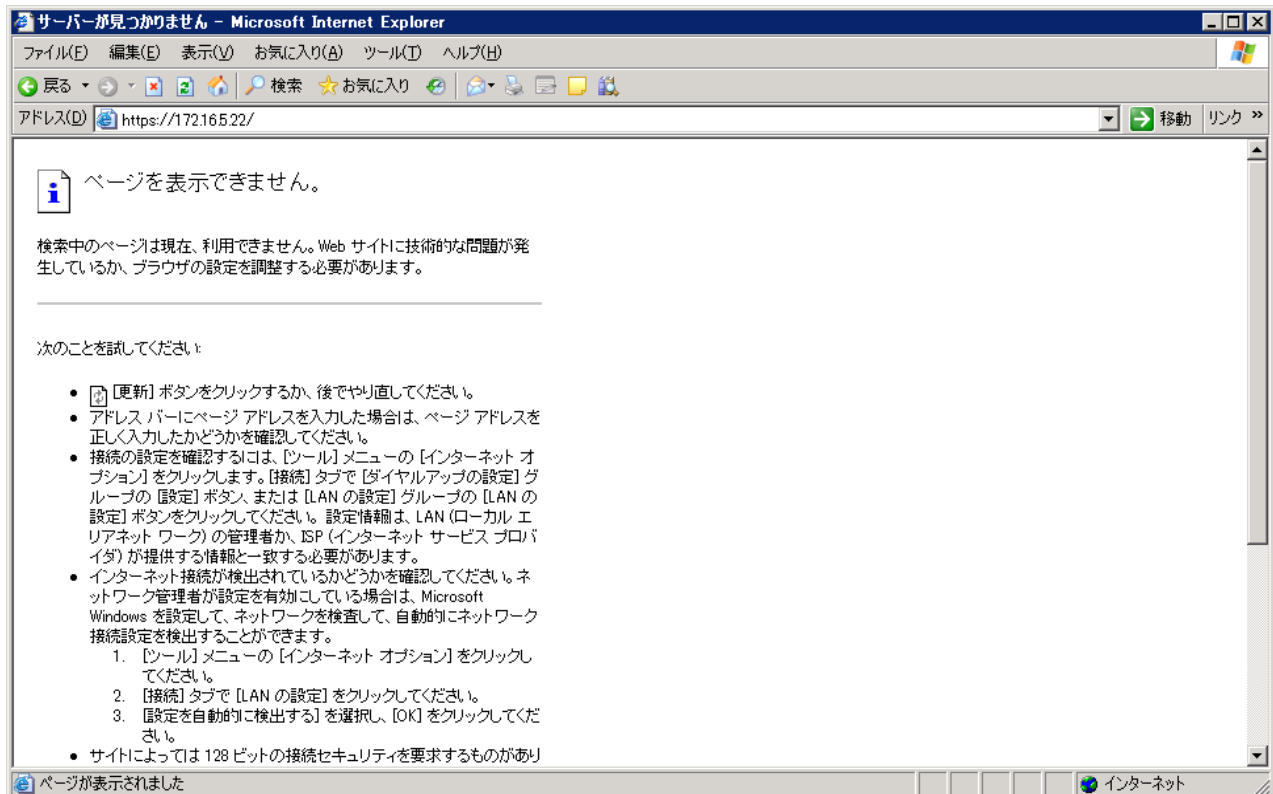


No.	エラーメッセージの内容	対応
1	内部エラーが発生致しました。再度ログインし直して下さい。問題が解決しない場合は、保守員まで連絡下さい。 (Code:XXXXXXXX)	下表を参照してください。

No.	エラーメッセージの内容	対応
1	パスワード設定ファイル更新時にパスワードファイルのオープンに失敗しました。 (Code:00010005)	パスワードファイルオープンできない内部障害が発生しています。お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
2	HTTP のリクエストパラメータが不正のため LPAR 名称取得できません。 (Code:00020002)	HTTP のリクエストパラメータが不正のため LPAR 名称取得できません。ログイン画面に戻り、ログインからやり直してください。
3	画像取得対象の LPAR 番号が 1 以下、17 以上の場合、パラメータ不正検出。 (Code: 00020003)	画像取得対象の LPAR 番号が 1 以下、17 以上のパラメータ不正検出しました。ログイン画面に戻り、ログインからやり直してください。
4	Web サーバ起動時に指定されている LPAR 番号が 1 以下、17 以上の場合、パラメータ不正検出。 (Code: 00020004)	Web サーバ起動時に指定されている LPAR 番号が 1 以下、17 以上のパラメータ不正検出しました。ログイン画面に戻り、ログインからやり直してください。

3.5 Web サーバアクセス不可時の画面

HVM が起動中(再起動を含む)の場合、Web サーバが起動していないため以下のようなエラー画面が表示されることがあります。

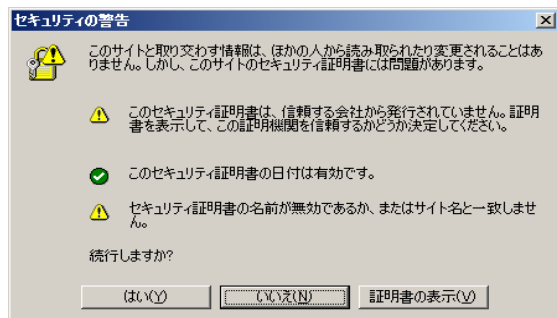
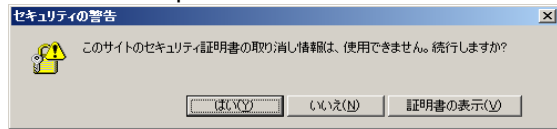


上記画面が表示された場合は、Web サーバが起動するまで、少し時間を置いてから再度アクセスしてください。

3.6 注意事項

- HVM Web システム利用時は、Web サーバに負荷を掛けないようにするため、利用可能ユーザは 1 人までとします。既にログインしている人がいる場合でも、後からログインした人が利用可能ユーザとなります。
- HVM Web システムへのアクセス
HVM Web システムへのアクセス時に以下に示すような「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがありますが、問題ありませんので続行してください。

● Internet Explorer 6.0 の場合



● Internet Explorer 7.0 の場合



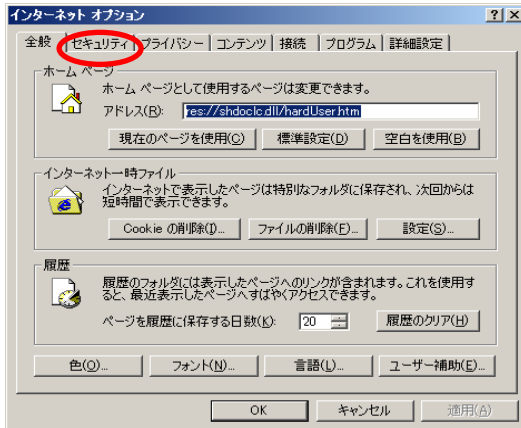
なお、Internet Explorer 7.0 の場合は元のウィンドウが閉じないことがありますが、「はい」をクリックして元のウィンドウを閉じてください。

■ Web ブラウザの設定

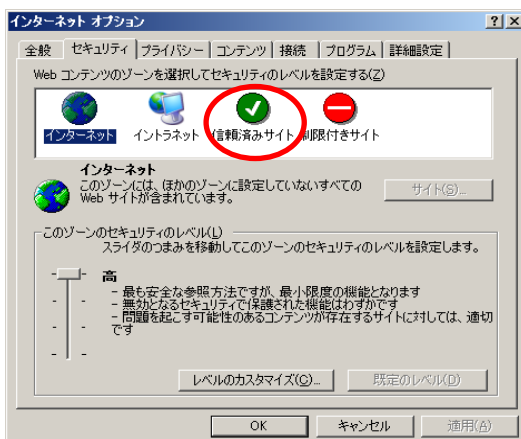
「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」を使用している場合など、Web ブラウザの設定によっては正常に動作しないことがあります。動作しない場合は HVM Web システムの URL を「信頼済みサイト」に追加してください。「信頼済みサイト」に追加する方法は次のとおりです。

● Internet Explorer 6.0 の場合

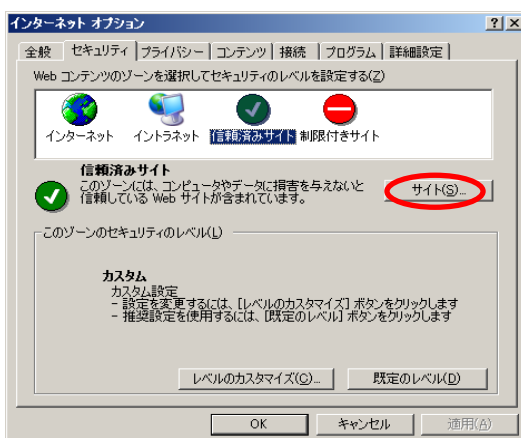
- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。
「インターネットオプション」ダイアログが表示されます。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。



- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。

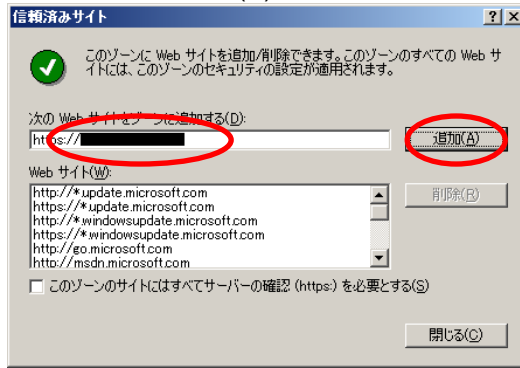


- 4 「サイト(S)」ボタンをクリックします。



「信頼済みサイト」ダイアログが表示されます。

5 「信頼済みサイト」ダイアログの「次の Web サイトをゾーンに追加する(D)」欄に、HVM Web システムの URL を入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

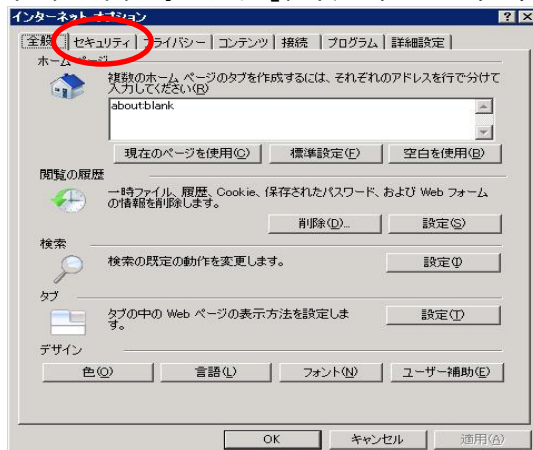


「Web サイト」欄に入力したサイトが追加されます。

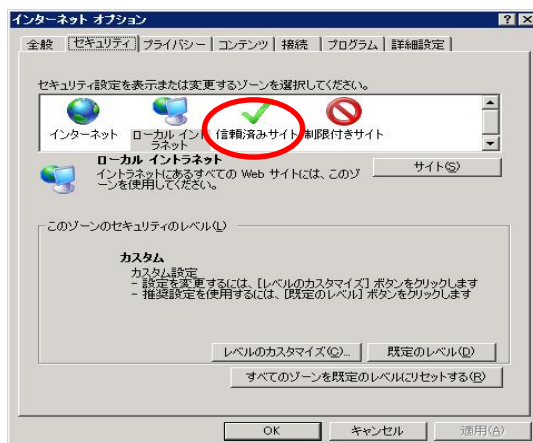
- 6 「閉じる」ボタンをクリックします。
「信頼済みサイト」ダイアログが閉じます。
 - 7 「インターネットオプション」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。
「インターネットオプション」ダイアログが閉じます。
- 以上で設定は完了です。

- Internet Explorer 7.0 の場合

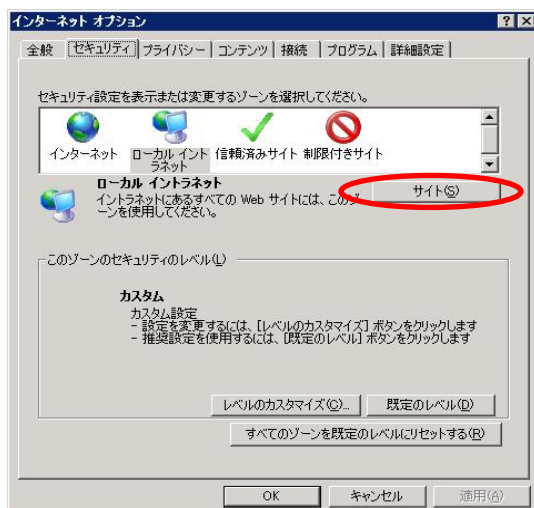
- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。
「インターネットオプション」ダイアログが表示されます。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。



3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。

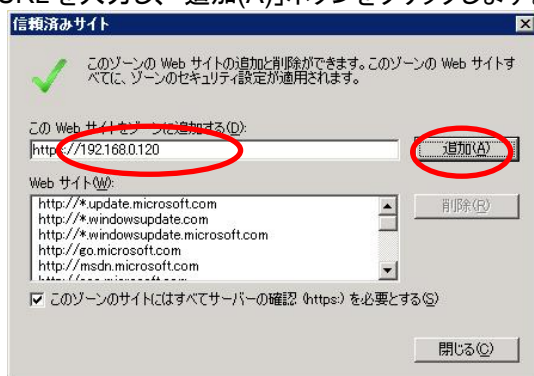


4 「サイト(S)」ボタンをクリックします。



「信頼済みサイト」ダイアログが表示されます。

5 「信頼済みサイト」ダイアログの「次の Web サイトをゾーンに追加する(D)」欄に、HVM Web システムの URL を入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。



「Web サイト」欄に入力したサイトが追加されます。

6 「閉じる」ボタンをクリックします。

「信頼済みサイト」ダイアログが閉じます。

7 「インターネットオプション」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。

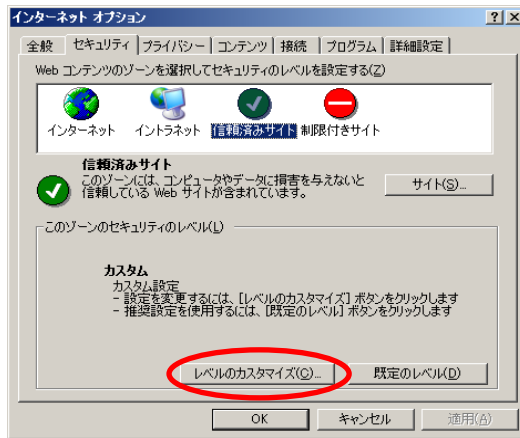
「インターネットオプション」ダイアログが閉じます。

以上で設定は完了です。

なお、「信頼済みサイト」に設定後も正常に動作しない場合は、「信頼済みサイト」のセキュリティの設定を確認してください。

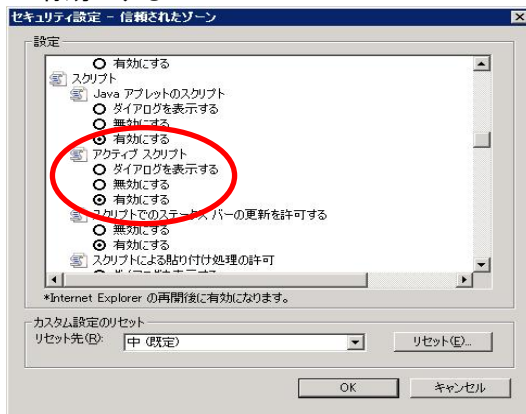
● Internet Explorer 6.0 の場合

- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。「インターネットオプション」ダイアログが表示されます。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。
- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。
- 4 「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。



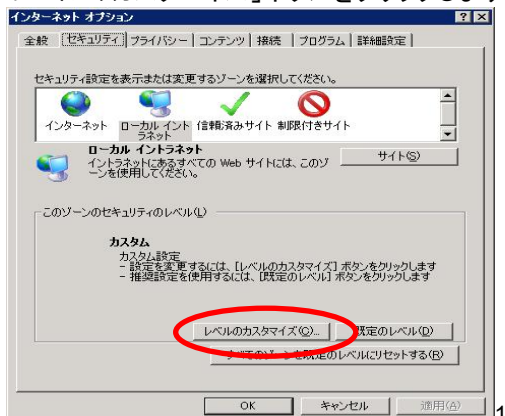
5 「セキュリティの設定」ダイアログで、次の項目を確認してください。設定が異なっていた場合は設定を変更してください。

- ・スクリプト
- +アクティブ スクリプト
- +有効にする



● Internet Explorer 7.0 の場合

- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。「インターネットオプション」ダイアログが表示されます。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。
- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。
- 4 「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。

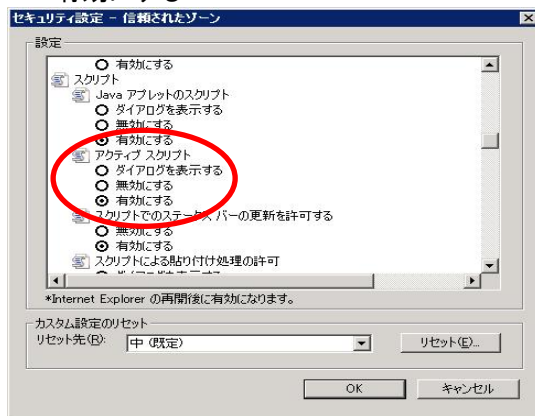


5 「セキュリティの設定」ダイアログで、次の項目を確認してください。設定が異なっていた場合は設定を変更してください。

・スクリプト

+アクティブ スクリプト

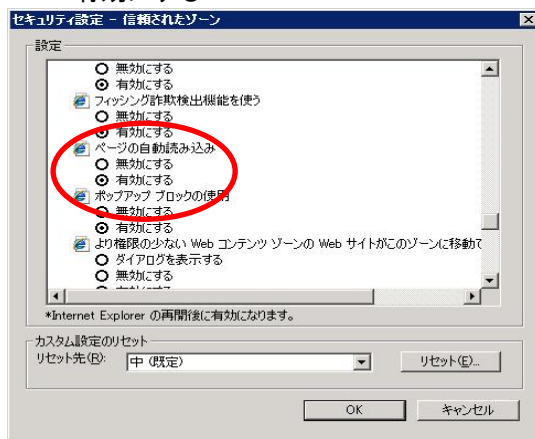
+有効にする



・その他

+ページの自動読み込み

+有効にする



4

変更来歴

項番	章	変更内容
1	全章	初版

BladeSymphony BS320

Virtage 論理 VGA スナップショット手順書

第 1 版 2011 年 4 月

無断転載を禁止します。

株式会社 日立製作所
エンタープライズサーバ事業部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下 1 番地

<http://www.hitachi.co.jp/>